

■ 自由投稿

親友 故中丸正明氏の息子達との縁と絆

成島和仁（22期）

横浜国立大学に入学し、YWVに入部したのは 1978年4月でした。中丸正明さんは、社会人になっても仲良く付き合ってきた大親友です。

中丸さんは2004年5月31日の午後7時に不慮の交通事故に遭い、一度も目を覚ますことなく昏睡のまま6月1日の午前8時頃に突然この世からいなくなりました。

当時、長男の俊君は高校1年生、二男の諒君は中学1年生、長女的美保ちゃんは5歳の幼稚園児でした。「お父さんは、まだ眠っているの」と言って自分で折った折り紙を枕元に置いている美穂ちゃんの姿が今でも臉に染みついています。

また、彼と最後に会ったのは、『津江さん新天地（プロパスト社）旅立ち壮行会』を浜松町芝文でやった時です。亡くなる3ヶ月前でした。にぎやかなワイガヤな宴でしたが、また近々会えることを疑わず、彼とあまり話をしなかったことが、今となっては悔やまれます。誰も彼が3ヶ月後にこの世からいなくなってしまう、今夜が最後の夜だったなんて思ってもいませんでした。

時は過ぎ、我々も50歳の山を越え、自分達の健康ケアを気にし、精神的ストレス発散の格好の場だという意味で、YWVの同期生の津江さん、山崎さん、成島の3人をコアメンバーとして最大7名でほぼ毎週集まって、三浦半島のウォーキング、泊まり込みの合宿企画、京浜急行主催の三浦半島のイベント等に参加しています。

また中丸さんの息子たちも、それぞれ大学入試で苦勞し、就活で悩む年になりました。ちょうど我々が常盤台のキャンパスで出会い、青春を共に過ごした頃と重なります。

同じ年頃の子どもを持つ親として、「俺達で中丸の親父代りにできることをしようぜ！」という津江さんの声かけで、イベントを計画しました。



伝心寺 毘沙門天

2011年1月8日 一番左が俊君。成島・山崎・津江と経営学部の同期の梶原の4名で金沢文庫の七福神巡りに連れ出しました。

京急富岡駅～富岡八幡宮（蛭子尊）～長昌寺（布袋尊）～賽蔵院（寿老人）～伝心寺（毘沙門天）～龍華寺（大黒天）～瀬戸神社（弁才天）～正法院（福祿寿）～越後（晚鐘庵）～金沢文庫駅のコースです。

就職浪人の俊君を励ますために縁起を担いでの企画です。最後は金沢文庫の晚鐘庵にて大宴会！ お店から「お静かに！」の注意をいただいちゃうほど盛り上がりました。（今年無事に就職が決まりました）

2011年3月26日 天園ハイキングコース市境広場。

左から3人目が諒君。その隣が津江さんの二男晃史郎君。諒君の一橋大学合格と、晃史郎君の京都大学合

格祝いを兼ねて港南台駅～金沢自然公園～天園茶屋～鎌倉までウォーキング。二人とも1年苦労した後の合格です。

鎌倉へ下山後、千花庵にて合格祝いの宴を開催！
3月11日の東日本大震災の2週間後で鎌倉も人が少ないとはいえ、お昼時にお店半分貸し切り状態。

成島、津江、中丸3人が落ちた一橋大学に諒君が合格、親達の雪辱を果たしてくれたことに大喜び、親子2代の挑戦に拍手です。オジサン達は美味しいキリン一番搾りと地酒で乾杯です！



市境広場

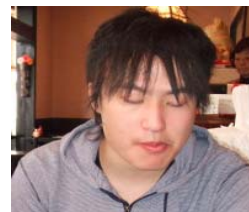
俊君も諒君も、お父さんの面影を引き継いでいます。血は争えませんが！



故中丸さん



俊君



諒君



若き日の故中丸さんと津江さん

ます。

仲間との縁、世代を越えた絆。その大切さに気付きました。これからも大事に引き継いでいきたいと思えます。

中丸・・・！ あまりにも短い人生だったけど、君の子供達も真っすぐ元気に育っていますよ。我々も時々中丸家の子供たちに親父の真似ごとをやっていくよ！・・・君にとってはその方が心配かな？

大丈夫、まあ心配しないで見ていて下さい。

学生時代から少なかった髪の毛を気にするしぐさ、大きな四角い額と特徴ある鼻と唇・・・そして優しい語り口。

恋のこと、将来のこと・・・何か当時の中丸さんと今ここで一緒に酒を飲みながら語り合っている錯覚に陥ってしまいます。

息子達を励ます、お祝いする企画なのに、かえって自分達が彼らから元気をいただく、若返った気分にしてくれることに、逆に感謝する気持ちになってしまい



左から 成島、津江さん、山崎さん